

平成28年産なし果実肥大状況と今後の栽培管理

平成28年7月11日
栃木県農政部経営技術課

1 結実後(5月以降)の気象経過

気温は平年よりも高く推移し、宇都宮で5月が平均2.1℃、6月が同1.1℃高かった。日照時間も平年よりも多く、宇都宮で5月が平年比108%、6月が同126%であった。一方、降水量は平年よりもかなり少なく、宇都宮で5月が平年比60%、6月が同63%であった。特に、5月下旬から6月上旬にかけて特に少なかった(別紙「平成28年4月～6月の気象経過」参照)。

2 満開後60日までの果実肥大状況

「幸水」は、満開後30日から60日にかけて県平均ではほぼ平年並であった。
「豊水」は、満開後40日から50日にかけて県平均で平年比104%とやや良好であった。

第1表 幸水の果実肥大状況

調査地点	果 実 横 径							
	満開後30日		満開後40日		満開後50日		満開後60日	
	実測値 (mm)	平年比 (%)	実測値 (mm)	平年比 (%)	実測値 (mm)	平年比 (%)	実測値 (mm)	平年比 (%)
大田原市	22.7	96	29.7	99	35.6	101	40.6	101
高根沢町	21.4	101	28.1	105	33.6	106	38.0	103
那須烏山市	19.9	94	25.5	95	32.1	103	34.5	96
宇都宮市	21.3	97	28.8	101	35.5	105	39.8	101
農業試験場	22.5	101	29.6	104	34.4	102	39.5	102
芳賀町	21.8	103	27.5	102	31.7	101	35.9	100
鹿沼市	21.8	102	29.4	106	34.9	106	39.4	104
栃木市	22.0	100	27.8	98	33.5	99	38.4	98
佐野市	22.8	97	28.0	93	33.8	93	39.3	94
小山市	23.5	105	29.8	104	35.8	104	41.7	105
平均	22.0	100	28.4	101	34.1	102	38.7	101

第2表 豊水の果実肥大状況

調査地点	果 実 横 径			
	満開後40日		満開後50日	
	実測値 (mm)	平年比 (%)	実測値 (mm)	平年比 (%)
大田原市	29.8	102	34.2	101
高根沢町	29.4	115	33.0	110
那須烏山市	24.7	98	28.4	98
宇都宮市	29.6	109	34.6	109
農業試験場	28.8	99	33.6	100
芳賀町	26.3	109	29.6	108
鹿沼市	28.0	107	33.4	110
栃木市	28.9	103	32.9	100
佐野市	26.7	97	31.2	97
小山市	29.9	103	35.1	104
平均	28.2	104	32.6	104

3 収穫期及び収穫時の果実肥大の予測

満開後40日時点における栃木県農業試験場による収穫期予測（6月3日時点）では、開花後の高温により果実の成熟日数が短くなると予想されることから、「幸水」の収穫始が3～8日、「豊水」の収穫始が4～8日、それぞれ平年より早まる見込みである（別紙「ナシの収穫期予測」参照）。

収穫時の果実肥大予測では、前述のように成熟日数が短くなると予想されることから、「幸水」が果実横径89.7mm（平年比94%）、果重388g（同92%）、「豊水」が果実横径100.4mm（同97%）、果重502g（同94%）と、いずれも平年より小さい見込みである（別添「幸水の果実肥大予測」及び「豊水の果実肥大予測」参照）。

4 今後の栽培管理

(1) 着果管理

結実は、全体的に概ね良好であるが、県中北部の「豊水」や「にっこり」等の中晩生品種でやや少ない圃場が散見された。このような地域では、圃場ごとに着果量を確認し、適正な着果量を確保できるよう努める。一方、「幸水」は全体的に結実が良好であるため、着果過多にならないよう注意する。

(2) 病虫害防除

開花期から県中北部の「幸水」で黒星病の発生がやや多い。本年はこれまで比較的降雨が少なく、現在のところ果実への伝染は少ないが、「幸水」は7月から黒星病に対する感受性が高まるので特に注意が必要である。発病の見られる圃場では、発病部位を摘み取り園外に持ち出して埋却処分するとともに、薬剤散布間隔が極端に長くないように注意する。

また、カメムシ類が開花期頃から県内全域で散見されている。栃木県林業センターによると本年はカメムシ類の餌となるヒノキの球果の結実量が多い見込みであり、このような年は山際の果樹園では注意が必要である。4mm目以下の多目的防災網で園全体を被覆するとともに、発生を確認したら薬剤防除を行う。

さらに、暖冬と春先からの高温の影響でナシヒメシンクイの発生が早まっている。発生量もやや多い傾向で、今後第3世代成虫が宇都宮市で8月8日頃、第4世代が9月3日頃に発生のピークを迎えると予測される。薬剤防除は成虫発生ピークの7～9日後を目安に実施する。

5 関東甲信地方 3か月予報(7～9月)【H28.6.24気象庁発表】

(1) 気温の確率

(%)

期 間	低 い	平年並	高 い
3か月	20	30	50
7 月	20	40	40
8 月	20	40	40
9 月	20	30	50

(2) 降水量の確率

(%)

期 間	低 い	平年並	高 い
3か月	30	40	30
7 月	30	40	30
8 月	30	40	30
9 月	40	30	30